

## 保存担当学芸員研修 (⑤保05-08-3/5)

### (1) 保存担当学芸員研修

期間：2008（平成20）年7月14日（月）～25日（金）、参加者数 30名

近年、各地方において博物館・美術館等の数が増加し、施設が近代化されるとともに、資料の保存への関心が高くなってきている。しかしながら、保存科学の知識を習得しようとしても適切な学習の場や教材がないのが現状である。そこで本研究所では、資料の保存に携わる学芸員がその職務に必要な知識と技術を持つよう研修を行おうとするものである。この趣旨のもと、第25回保存担当学芸員研修を開催した。

7月14日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

佐野千絵「保存環境 各論 一文化財の材質・構造」

原田昌幸（文化庁）「保存環境 各論 一文化財公開施設の設計一」

犬塚将英「保存環境 各論 一温湿度一」

7月15日（火）

犬塚将英・吉田直人「保存環境〈実習〉一温湿度測定機器の取扱い」

木川りか「生物被害 概論」

木川りか「生物被害 各論 一文化財害虫一」

小峰幸夫（文化財虫害研究所）・木川りか「生物被害〈実習〉一文化財害虫同定一」

7月16日（水）

木川りか「生物被害 各論 一カビ一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）・木川りか「生物被害〈実習〉一カビの除去一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）「劣化と保存 各論 一日本画一」

佐野千絵「保存環境 各論 一室内汚染一」

吉田直人・犬塚将英「保存環境〈実習〉一室内汚染の測定法と環境調査一」

7月17日（木）

吉田直人「保存環境 各論 一光と劣化・照度基準一」

三浦定俊「博物館の設備 一防災・防犯一」

7月18日（金）

三浦定俊「調査手法 各論 一構造調査一」

吉田直人「調査手法 各論 一材質調査（有機物）一」

神庭信幸（東京国立博物館）「東京国立博物館における文化財の保存」

7月22日（火）

石崎武志・犬塚将英「温湿度〈実習〉解説」

土屋裕子（東京国立博物館）「劣化と保存 各論 一修復材料一」

加藤雅人「劣化と保存 各論 一紙一」

早川泰弘「調査手法 各論 一材質調査（無機物）一」

早川泰弘「大気汚染の金属への影響」

7月23日（水）

石崎武志・吉田直人・犬塚将英「環境調査〈実習〉一ケーススタディー一」

7月24日（木）

歌田眞介（東京芸術大学名誉教授）「劣化と保存 各論 一油彩画一」

山口孝子（東京都写真美術館）「劣化と保存 各論 一写真一」

高妻洋成（奈良文化財研究所）「劣化と保存 各論 一考古資料一」

石崎武志・佐野千絵・木川りか・吉田直人・犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月25日（金）

北野信彦「劣化と保存 各論 一漆工品一」

石崎武志「劣化と保存 各論 一屋外の文化財一」

研修参加者名：

足立圭、稲垣幸祐、江野道和、大井理恵、小倉嘉夫、河合忍、宜保博哉、小林啓、米井善明、鹿野塁、下津間康夫、鈴木秀雄、田中晴子、塚田美香子、塚本ゆかり、長嶋圭哉、西島庸介、西野華子、阪野陽介、船越英恵、松下由里、松本純子、三島知美、三井義勝、宮井肖佳、森谷文子、山口佳奈、山田尚彦、湯浅英雄

所属：

国立歴史民俗博物館、文化庁文化財部美術学芸課、国立新美術館、国立国会図書館、盛岡てがみ館、財団法人福島県文化振興事業団遺跡調査部渡利分室、群馬県立館林美術館、埼玉県立歴史と民俗の博物館、松戸市戸定歴史館、財団法人大倉文化財団大倉集古館、財団法人石橋財団ブリヂストン美術館、財団法人東日本鉄道文化財団東京ステーションギャラリー、財団法人エム・オー・エー美術文化財団箱根美術館、新潟県立近代美術館、石川県立歴史博物館、財団法人長野県文化振興事業団長野県信濃美術館、各務原市教育委員会、光記念館、稲沢市教育委員会、安城市歴史博物館、財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム、愛荘町立歴史文化博物館、財団法人逸翁美術館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪青山歴史文学博物館、岡山県立博物館、広島県立歴史博物館、伊都国歴史博物館、沖縄県平和祈念資料館

## (2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2008年6月2日、会場：東京文化財研究所セミナー室、参加者：66名

1981（昭和56年）より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は500人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

プログラム・講師

犬塚将英「コンピューターシミュレーションによる館内温湿度解析」

吉田直人「文化財保存施設におけるジクロロボス蒸散殺虫剤の使用について」

佐野千絵「『カビ対策マニュアル』作成協力者会議（文部科学省大臣官房政策課所管）を終えて—『カビ対策マニュアル』の目指すもの—」